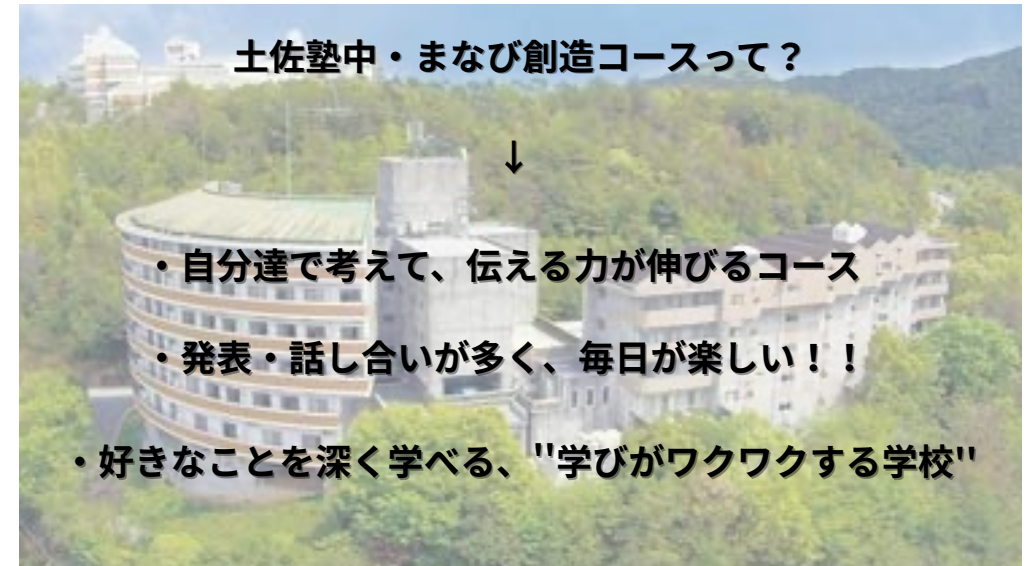


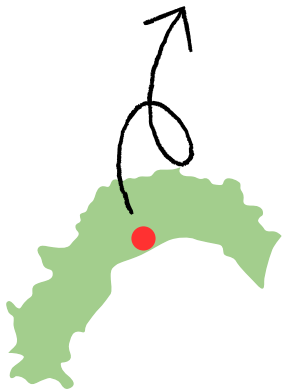
「ゆめちから」栽培研究プログラム

第13期成果発表会

土佐塾中学校



高知県 高知市の気候の特徴



雨が多くて温暖

夏は蒸し暑く
雨が一気にたくさん降る

今回のプロジェクトについての目標



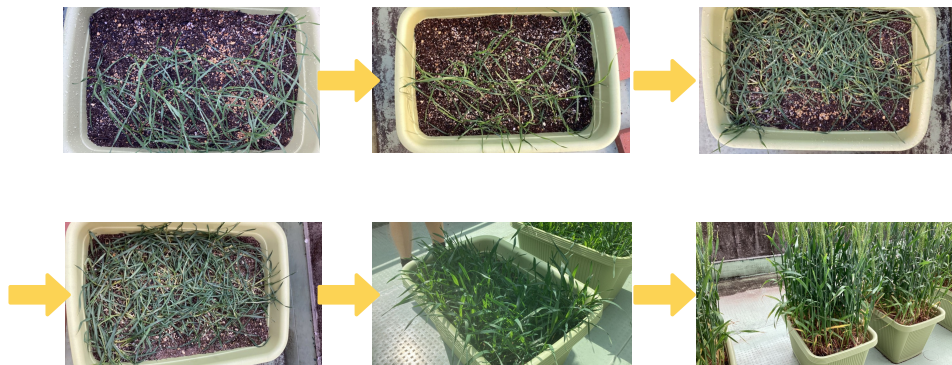
肥料について

	基肥期	起生期
基準区	7.5g	13.5g
研究区	8.0g	18g

小麦の成長過程 基準区①



小麦の成長過程 研究区①



小麦を育てるなかで気づいたこと

- 写真から、基準区の方が若干穂の数が多いように見える。
- 芽が出る瞬間は思ったより早い
- 土の水管理が大切
- 寒さに強い！

収穫できた穂数(本/m²)

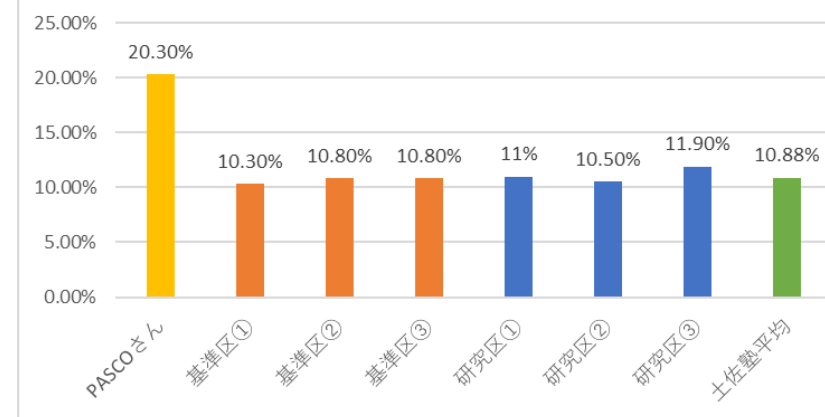
$$= \text{穂数(本/プランター)} / 0.29\text{m}^2$$

処理区	穂数(本/プランター)				穂数(本/m ²)			
プランター番号	1	2	3	平均	1	2	3	平均
基準区	117	137	115	123	403	492	397	424
研究区	117	109	123	116	403	376	424	401

結果から分かること

- 基準区、研究区ともに穂数に大きな差は見られなかったが、若干基準区の方が多かった。
- タンパク質含量は、パスコさんと比べて全体的に10%くらい低かった。
- 基準区と研究区のタンパク質含有量を比べると、研究区の方が若干多かった。

タンパク質含量



考察

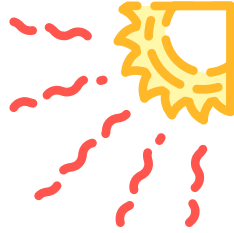
穂数…基準区の方が若干多い

タンパク質含有量…研究区の方が若干多い

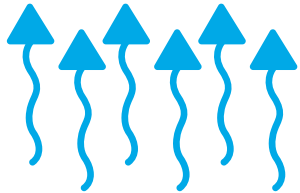


肥料の量は、タンパク質含有量に影響するのではないかな。
タンパク質含有量が多い小麦を育てるためには、より多くの肥料が必要なのではないかな。

パスコさんと比べて、
タンパク質含量に大きな違いが出た原因



高知特有の暑さと降水量の多さ！



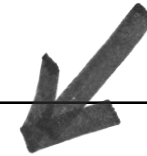
小麦の生育に適した気候↓

- 涼しくて、乾燥気味
- 発芽適温: 15～20℃
- 生育適温: 10～25℃
- 理想の年間降水量: 500～1000mm



高知県高知市の気候↓

- 温暖で湿度が高い
- 年間平均気温: 17℃
- 年間平均降水量: 2600～2700mm



降水量がかなり多い！！

まとめ



- タンパク質含有量が多い小麦を育てるためには、肥料をたくさん与えたほうがいいのではないか。

※今回計画どおりに肥料を与えることができなかったのも、あくまで予想。

- タンパク質含量が少ない→グルテンができにくい
「ふんわり・サクサクした食感」のものが作れる

